

※(再発行) 文章に不適切な表現がありました。訂正してお詫びします。

石中だより 「しょうりょくびゃっか」

2019(令和元)年11月22日(金)

松 緑 白 花

Vol 34
(再発行)

石垣市立石垣中学校
教 頭 伊舎堂 用右



『P文化委員会主催 創立70周年記念文化講演会』

16日(土)、本校体育館でPTA文化委員会主催(西銘由紀委員長)による創立70周年記念文化講演会が行われました。タイトルは『いのちの重さを見つめ続けた18年～愛しみ(かなしみ)と共に生きる～』2001年に起きた大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件被害者家族の一人として、事実を伝え、今後、このような悲しいことが起きないようにするためにはどうしたらいいか等を自分の体験をもとに来場した方々に熱く話していました。

この事件は防げたもの、危機意識の高さが必要。本人は我が子がなくなり、生きる希望も失い自殺まで考えたそうですが、娘の優希ちゃんは、刺された後、68歩いていたそうです。必死に生きようとしていた我が子から前を向くことができ、今の自分がある。現在はグリーンケア(精神対話士)の資格を取り、悲しみに寄り添う=いのちのケアから命の重さ、大切さに向き合い、全国を飛び回り講演活動も行っているそうです。多くの保護者・先生方も講師の話に熱心に真剣に聞き入っていました。学校は聖域であるというのは一昔前の話で、対岸の火事、他人事ではなく、自分事として捉え、今後にかかしていかなければならないと強く感じました。「人が人を傷つける・人を救うのも人」・「ひとりの幸せは学校・地域の幸せ、ひとりの悲しみは学校・地域の悲しみ」とも語っていました。本校も2・3事件という暗い過去があり、学校・地域全体が悲しみの毎日でした。学校として危機管理・子どもの安心安全を確保すること、生徒と一緒に命の尊さ(重さ・大切さ)を考え、自尊感情を高める・自己肯定感を高める、家庭・地域では見守り、声かけの徹底をできればいいなと思いました。池田小事件、2・3事件が風化することなく教訓にして、「まさか自分のところでは・・・」ではなく、高い意識で、常に危機意識を持っていきましょう。西銘委員長を文化委員会のメンバーにPTA役員の皆様、ありがとうございました。



できるから

P保健体育委員会主催 講話

① 12日(火) 石垣市教育委員会・教育長をはじめ教育委員の訪問がありました。校内の行き届いた清掃、教室内外の掲示物や整理整頓された環境におほめの言葉。それ以上に生徒の落ち着いた雰囲気の中での授業を受ける姿勢、更に先生方の頑張りにおほめの言葉。また、本校の課題である、施設に関する要望や学力向上、不登校問題について意見交換が行われました。一人ひとりを大切にすること、学力向上へ向けて策を講じることのアドバイスをもらいました。

② 19日(火) 午後より石中校区内の新川小学校で第2回小中合同研修会が開催されました。授業参観後に琉球大学教授・丹野清彦氏をお招きして「支持的風土のある学級づくり・学校づくり」について講話をもらいました。伝え方・子ども理解・自己肯定感を高め、仲間づくりから居心地のいい学級・学校づくりのヒントを得ました。石中にもお招きして講話をと考えています。

18日(月) 6校時に全校生徒で「犯罪に関する自己防衛教室」～侵入者への対処～というタイトルで、八重山警察署より玉城雄兵警部補と喜友名交番長をお招きして講演会を開催しました。先日、16日(土)の文化講演会が主に学校・保護者向けと考えると、今回は、主に生徒向けへの講話で関連性が出た講話になりました。侵入者への対処法(簡単な護身術のレクチャー)もありました。“自分の身は自分で守る”が現代社会のキーワードかと思います。企画・開催していただいたPTA保健体育委員会・友利和正委員長をはじめ、委員の皆さん、ありがとうございました。



Pソフトバレー大会(24日・日)へ向けて今日も体育館で練習してますよ～! 19時半～だよ全員集合!!